

令和4年度 新規

令和7年度 第1回計画変更

土地改良事業変更計画書

(農地中間管理機構関連農地整備事業 日之浦地区)

事業主体 広島県

施工場所 広島県呉市安浦町

第1章 目 的	1	第4章 一般計画	15
第2章 地域及び地積	1	第1節 事業計画の要旨	15
第1節 地 域	1	1 要 旨	15
第2節 地 積	1	2 事業別面積	15
第3章 現 況	2	第2節 営農計画及び土地利用計画	15
第1節 気象及び海象	2	1 営農計画の概要	15
1 一般気象	2	2 土地利用区分	15
2 特殊気象	2	3 作付方式	16
3 海 象	3	4 生産計画	17
第2節 土地状況	3	5 労働改善計画	18
1 地形, 土壌及び侵食の程度	3	6 級地別土地利用区分	19
2 土地分類	4	7 土地配分計画	19
3 土地利用の状況	4	第3節 用水計画	20
4 土地所有の状況	5	1 計画基準年	20
第3節 水利状況	5	2 計画かんがい方式	20
1 用水状況	5	3 計画用水系統	20
2 排水状況	8	4 計画用水量	20
3 河川状況	10	5 水源計画	21
第4節 道路概況	10	第4節 排水計画	23
1 道路概況	10	1 計画基準雨量	23
2 主要道路一覧表	11	2 計画排水方式	23
第5節 地域農業の概況	11	3 計画排水系統	23
1 産業別就業人口	11	4 計画排水量	23
2 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況 並びに専兼業別農家数	11	5 排水対策	23
3 動力農機具及び主要家畜頭数	12	6 たん水検討	24
4 主要作物作付状況	13	第5節 道路計画	25
5 農業の動向	13	1 道路及び索道	25
第6節 地域環境の概要	14	2 路線配置図	25
		第6節 農用地造成計画	25
		1 農用地造成計画	25
		2 土壌改良	25

第7節	洪水調節計画	26	第4節	農用地造成	32
1	計画基準雨量	26	1	農用地造成	32
2	計画洪水量及び調節量	26	2	土壌改良	34
3	貯水池	26	第5節	洪水調節施設	34
4	洪水調節検討	26	1	貯水池	34
5	管理計画	26	2	頭首工及び導水施設	34
第8節	干拓計画	26	第6節	干拓施設	34
第9節	農用地整備計画	27	1	堤防	34
1	区画整理	27	2	潮止め	35
2	暗渠排水	27	3	付属施設	35
3	客土	28	4	埋立	35
4	農地保全	28	第7節	農用地整備施設	35
第10節	老朽ため池改修計画	29	1	区画整理	35
1	洪水吐改修計画	29	2	暗渠排水	36
2	堤体補強計画	29	3	客土	36
3	取水施設改修計画	29	4	除礫	36
			5	農地保全	37
第5章	主要工事計画	30	第8節	老朽ため池改修施設	37
第1節	用水施設	30	1	貯水池	37
1	貯水池	30	2	堤体補強施設	37
2	頭首工	30	第6章	附帯工事計画	38
3	揚水機	30	第7章	工事の着手及び完了の予定時期	38
4	用水路	30	第8章	環境との調和への配慮	38
第2節	排水施設	31	第9章	換地計画の概要	38
1	排水水門	31	第1節	換地計画を作成する上での基本的な考え方	38
2	排水機	31	第2節	換地区の設定	38
3	排水路	31			
4	その他	31			
第3節	道路及び索道	32			
1	道路	32			
2	索道	32			

1 換地区の名称、所在、面積	38
2 換地区を設定する理由	38

第3節 換地区計画樹立の基本方針	38
1 従前の土地の地積の基準	38
2 用途別予定地積	39
3 農用地集団化の方針	40
4 非農用地の換地方法	40

第4節 土地の評価及び清算の方法	40
1 評価の方法	40
2 清算の方法	40

第5節 換地計画樹立の年度計画	40
-----------------	----

第6節 換地処分の特則	40
-------------	----

第10章 事業費の総額及び内訳	41
-----------------	----

第11章 効用	41
---------	----

第12章 関係する事業	41
-------------	----

第13章 現況・計画図面	41
1 現形図	
2 計画平面図及び土地利用計画図	
3 主要構造図	

第1章 目 的

本地区は呉市の東部に位置し、標高1m程度の寸田原川河口の農振農用地区域である。近年、農業従事者の高齢化が進み、区画整理が不十分な本地区では、農作業が困難になっており、担い手への農地集積・集約化も進まない状況である。そこで、区画整理を行うことで農地集積・集約化を進めるための条件を整備し、農業生産企業の参入・営農拡大や地域の核となる経営力の高い担い手への集積と育成を図り、青ネギの栽培による安定した営農を確立させることを目的に本事業を行うものである。
 なお、この度の計画変更は、日之浦地区の受益地の変更等があったため行うものである。

第2章 地域及び地積

第1節 地 域

(第1表)

事業名	地 域
農地中間管理機構関連農地整備事業	広島県呉市安浦町

第2節 地 積

(第2表)

事業名	現況地目	田	畑	原野	山林	その他	計	備 考
	市町村名	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
農地中間管理機構関連農地整備事業	呉市	(7.2) 7.1	(0.2) 0.3	(0.0) -		(0.7) 0.6	(8.1) 8.0	
合 計		(7.2) 7.1	(0.2) 0.3	(0.0) -		(0.7) 0.6	(8.1) 8.0	

第3章 現 況

第1節 気象及び海象

1 一般気象

(第3表-1)

観測所名	広島	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備考
観測期間	1961年～2020年	5月～9月	10月～4月		
平均気温 (°C)		23.8	10.1	15.8	
降水量	平均 (mm)	968.6	596.3	1,564.9	
	基準年 (mm)				
降水日数	平均 (mm)	49	53	101	
	基準年 (mm)				
根雪期間		- 月 - 日	～ - 月 - 日	- 日間	
無霜期間		- 月 - 日	～ - 月 - 日	- 日間	
最多風向	北北東	最大風速 (風向)		36.0 m/s (南)	最多風向発生時期 9月～6月 最大風速発生年月日 1991年9月27日

2 特殊気象

(第3表-2)

観測所名 呉	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位		
	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率
最大日雨量 (mm)	205	H17.9.6	55.3	199	S47.8.20	44.7	195	H30.7.6	38.8	186	H11.6.29	28.3	176	S40.6.19	19.9
最大時間雨量 (mm)	70	H11.6.29	194.9	52	H30.7.6	18.5	50	H3.7.12	14.4	49	H21.7.24	12.8	46	H25.7.4	8.9
最大4時間雨量 (mm)	161	H11.6.29	78.8	123	H4.8.8	19.5	123	H21.7.24	19.5	118	H30.7.7	16.1	117	S56.7.3	15.5
最大連続雨量 (mm)	483	S60.6.21 ～6.30	-	471	H30.7.5 ～7.8	-	419.0	S54.6.21 ～6.30	-	383.5	R2.7.3 ～7.16	-	345	H7.6.30 ～7.7	-
最大連続干天日数 (日)	68	H22.7.17 ～9.22	160.8	52	H16.1.1 ～2.21	27.4	51	S29.10.7 ～11.26	24.5	51	S35.1.17 ～3.7	24.5	51	R2.11.3 ～12.23	24.5

3 海象

該当なし

(第3表-3)

観測所名	観測期間	既往最高潮位 (m)	さく望平均満潮位 (m)	上下弦平均満潮位 (m)	平均潮位 (m)	上下弦平均干潮位 (m)	さく望平均干潮位 (m)	既往最低潮位 (m)
実測値	年～年	()						()

第2節 土地状況

1 地形、土壌及び侵食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地目 傾斜区分	田・畑						樹園地・その他							受益地標高(m)			
		1/1000 以下	1/1000 ～1/100	1/100 ～1/20	1/20 ～1/11.5	1/11.5 以上	計	8°～15°			15° ～20°	20° 以上	計	最高	最低			
								3° 以下	3° ～8°	8° ～10°						10° ～12°	12° ～15°	
農地中間管理機構 関連農地 整備事業	面積 (ha)		(7.4) 7.4				(7.4) 7.4										-1	1
	比率 (%)		100				100											
合計	面積 (ha)		(7.4) 7.4				(7.4) 7.4											
	比率 (%)		100				100											

(第4表-1-2)

項目 土壌統(区)名	土 壌 統 (区) 区 分 一 覧 表										面積(ha)		備考
	土 壌 断 面										事 業 名		
	色	腐植	礫層	酸化 沈殿物	土 性			泥炭層 黒泥層 及びグライ層	堆積様式	母材	農地中間管理機構 関連農地整備事業	計	
					表土	下層土							
一層					二層	三層							
強グライ土壌 砂土還元型 D-36	青灰	なし	なし	-	砂	-	-	なし、なし、K1	水積	非固結堆積岩	(7.0) 6.9	(7.0) 6.9	
計											(7.0) 6.9		

該当なし

(第4表-1-3)

事業名	区分	土壌の流亡率				年平均流亡速度				ガリ浸蝕の程度		備考
		0	0～25%	25～50%	50%	0	3mm未満	3～5mm	5mm以上	中程度のもの	大なるもの	
	面積(ha)											
	比率(%)											

2 土地分類

該当なし

(第4表-2-1)

市町村名	級地別	農用地造成										計	備考
		一級地	二級地				三級地			四級地			
		※	3°～8°	8°～12°	12°～15°	※	15°～20°	20°～25°	25°～30°	※	30°以上	(ha)	
		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
	計												※は傾斜以外の要因によるもの

該当なし

(第4表-2-2)

市町村名	級地別	干 拓					計	備考
		一級地	二級地	三級地	四級地			
		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)		
	計							

3 土地利用の状況

(令和7年10月現在)

(第4表-3)

事業名	市町村名	耕地							山林		採草放牧地	原野	その他	計	備考	
		水田	普通畑	牧草地	果樹園	茶園	その他の樹園地	用材林	薪炭林							
農地中間管理機構関連農地整備事業	呉市	(7.2)	(0.2)											(0.7)	(8.1)	
		7.1	0.3											0.6	8.0	
	合計	(7.2)	(0.2)											(0.7)	(8.1)	
		7.1	0.3											0.6	8.0	

4 土地所有の状況

(令和7年10月現在) (第4表-4)

事業名	所有別	個人所有	国所有	県所有	市所有	改良区所有	計	備考
	区分							
農地中間管理 機構関連農地 整備事業	面積 (ha)	(7.5) 7.4			0.6		(8.1) 8.0	
	受益者数 (人)	14					14	
	筆数 (筆)	56			23		79	
	権利関係 (人)	18					18	
	備考 (関係戸数)							
合計	面積 (ha)	(7.5) 7.4			0.6		(8.1) 8.0	
	受益者数 (人)	14					14	
	筆数 (筆)	56			23		79	
	権利関係 (人)	18					18	
	備考 (関係戸数)							

第3節 水利状況

1 用水状況

渓流水を水源としている。

(1) 用水系統

別添資料①参照

(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		水利権		慣行水利権		延べ 取水量 m ³ /s	備 考
		ha以上		～ha		100 ha未満									
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	m ³ /s	箇所	m ³ /s	m ³ /s	
農地中間 管理機構 関連農地 整備事業	貯水池														
	井堰														
	自然取入口														
	揚水機														
	その他					2	(7.2) 7.1	2	(7.2) 7.1			2	0.017		渓流水
合 計					2	(7.2) 7.1	2	(7.2) 7.1			2	0.017			

(イ) 改修を要する施設一覧表

該当なし

(第5表-2)

事業名	項目 施設名	施設名 又は 箇所数	受益面積(ha)	構 造	規 模	新設年 又は 更新年	改修を 必要とする 理由	備 考
	貯水池							
	井堰							
	自然取入口							
	揚水機							
	用水機							
	その他							
合 計								

(3) 用水に関する被害状況

(ア) 用水不足による被害状況 該当なし

(第5表-3-1)

事業名	項目 系統名	かんがい 面積 (ha)	現況 必要水量 (千m3)	不足水量				平均 減産量 (t)		備考
				かんがい期 最大不足水量		かんがい期 総不足水量		作物名	減産量 (t)	
				平均 (m3/s)	基準年 (m3/s)	平均 (千m3)	基準年 (千m3)			
合計										

(イ) その他の被害状況 該当なし

(第5表-3-2)

事業名	時期別	かんがい 面積 (ha)	水温(°C)		水質	被害量 (t)	備考
			最高	最低			

(4)ため池決壊の場合の想定被害状況 該当なし

(第5表-3-3)

事業名	想定被害面積 (ha)				想定被害額 (百万円)					備考	
	田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	公共施設	家屋その他		計
合計											

2 排水状況

(1) 排水系統

別添資料④参照

(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表

(第5表-4)

事業名	項目 施設名		排水面積						計		排水慣行 (m3/s)	現況排水能力 (m3/s)	備考	
			500 ha以上		500ha未満～100ha		100 ha未満		箇所	面積ha				
			箇所	面積ha	箇所	面積ha	箇所	面積ha						
農地中間 管理機構 関連農地 整備事業	自然	排水路						(17.4)		(17.4)	0.565	0.678		
		水門						1	17.3	1				17.3
	機械	排水機												
		水門及び排水機												
		排水路及び排水機												
	合計							1	(17.4) 17.3	1	(17.4) 17.3	0.565	0.678	

(イ) 改修を要する施設一覧表

該当なし

(第5表-5)

事業名	項目		施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年 又は 更新年	改修を必要とする理由	備考
	施設名								
	自然	排水路							
		水門							
	機械	排水機							
		水門及び排水機							
		排水路及び排水機							
合計									

(3) 排水に関する被害状況 該当なし

(第5表-6)

事業名	項目 系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)		湛水状況				乾湿状況 (ha)						平均 減産量		備考
					湛水深 (cm)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m3)	田		畑		その他		作物名	減産量(t)	
									乾	湿	乾	湿	乾	湿			
			平均														
			基準年														
			平均														
			基準年														
			平均														
			基準年														
合計			平均														
			基準年														

3 河川状況

(1) 河川状況 該当なし

(第5表-7)

河川名	項目 流路状況	勾配	断面	計画洪水量 (m3/s)	既往最大洪水量 (m3/s)	備考

(2) 洪水に関する被害状況 該当なし

(第5表-8)

区分	項目 農用地 (百万円)	農用施設 (百万円)	作物 (百万円)	公共施設 (百万円)	備考
過去の最大被害額					
平均被害額					

第4節 道路概況

1 道路概況

本地区は、市道が区域の中央部を横断している。また、区域の東側から南側にかけて県道465号線が通っている。この主要道路から本地区へ接続する農道は未改修で農道の幅員が狭く高低差も大きいため、農業機械の搬入搬出や農作物の運搬に多大な時間と労力を要している。さらに、主要道路は一般交通量が多く合流の際の安全性が低いため、営農時の通行は極力抑えたい。

2 主要道路一覧表

(第6表)

No	路線名	管理区分別	延長 (m)	幅員 (m)		構造	改修の要否	備考
				全幅	有効			
1	県道465号線	県	1,000	5.0 ~ 7.0	-	アスファルト舗装	否	
2	市道	市	305	4.5 ~ 5.0	-	アスファルト舗装	否	

第5節 地域農業の概況

1 産業別就業人口

(第7表-1)

項目 市町村名	総数	農業	林業	漁業	鉱業等	建設業	製造業	電気ガス 熱供給 水道業	運輸 通信業	卸売り 小売業	金融 保険業	不動産業 サービス業 等	公務	その他	備考
	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)
呉市	100,089	1,592	14	810	22	6,280	21,120	453	5,905	13,201	1,740	1,221	13,173	9,709	24,849
比率(%)	100	1.6	0.0	0.8	0.0	6.3	21.1	0.5	5.9	13.2	1.7	1.2	13.2	9.7	24.8

資料:国勢調査(R2)

2 経営耕地広狭別農業経営体

(第7表-2)

区分 市町村名	農業 経営体数 (経営体数)	経営耕地広狭別農業経営体数(経営体)														1経営体当たり平均農用地面積(ha)					備考	
		0.3 ha 未満	0.3 ~ 0.5	0.5 ~ 1.0	1.0 ~ 1.5	1.5 ~ 2.0	2.0 ~ 3.0	3.0 ~ 5.0	5.0 ~ 10.0	10.0 ~ 20.0	20.0 ~ 30.0	30.0 ~ 50.0	50.0 ~ 100	100 ~ 150	150 ha 以上	田	畑	樹園地	小計	草地		計
呉市	989	180	346	322	90	29	14	8	-	-	-	-	-	-	0.5	0.3	0.5	1.3		1.3		
比率(%)	100	18	35	33	9	3	1	1	-	-	-	-	-	-								

資料:農業センサス(R2)、広島農林水産統計データ集

3 主要家畜頭数

(第7表-3)

項目 市町村名	主 要 家 畜						備 考
	乳用牛		肉用牛		豚		
	数 量 (頭)	経営体数 (経営体)	数 量 (頭)	経営体数 (経営体)	数 量 (頭)	経営体数 (経営体)	
呉市	-	1	-	1	-	-	
100戸当り 数量(台、頭)							
利用戸数 割合(%)							

資料: 農業センサス(R2)

4 主要作物作付状況

(第7表-4)

市町村名			呉市		計		平均		作付率 (%)	備考
総耕地面積(ha)			580		580					
総本地面積(ha)			-							
作物名	区分		作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg・10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)		
	田	表作	水稻	208	450					36
大豆			2	52					0	
裏作										
小計										
畑	春夏作									
	秋冬作									
	小計									
樹園地										
	小計									
計			-				-			
市町村別 延べ作付率(%)			-				-			

資料: 中国四国農林水産統計データ集(R2)

5 農業の動向

(第7表-5)

項目	農業経営体			土地			主要作物			主要家畜			地域	備考
	B	A		B	A		作物名	B	A	家畜名	B	A	指定等	
変化の状況 (C年を100とする指数)	農業経営体数	81	59	耕地	94	85	米	56	46	乳用牛	-	-	A: 令和2年 B: 平成27年 C: 平成22年	
	個人経営体数	81	58	田	91	88	麦類	-	-	肉用牛	-	-		
	団体経営体(法人)数	108	123	普通畑	94	84	豆類	-	-	豚	-	-		
	団体経営体(非法人)数	50	0	樹園地	-	-	野菜	-	-	採卵鶏	-	-		
変化の理由	農業を取り巻く社会情勢の変化による。													

資料: 農業センサス(H27、R2)、広島農林水産統計年報(H27)、中国四国農林水産統計データ集(R2)

第6節 地域環境の概要

本地区は、呉市の東部（安浦町）に位置し、県道465号川尻安浦線と日之浦北川及び日之浦南川に挟まれた標高1m程度の平らな地形である。気象は年間を通じて降水が比較的少なく温暖な瀬戸内海性気候で、年平均気温17.1℃、年平均降水量は1,962.0mmとなっている。

また、本地区は「呉市田園環境整備マスタープラン」において”環境創造区域”に指定されており、工事の施工前から随時確認を行い、必要に応じて工法検討を行う必要がある。なお、現地調査の結果、保護すべき動物としてカヤネズミ、ニホンイシガメ、トノサマガエル、メダカ、ドジョウ、ホウネンエビなど13種、保護すべき植物として地域特徴種を含めたカワツルモ、カワヂシャ、アカウキクサ、ヒメミズワラビ、イチョウウキゴケなど7種の生息が確認されており、環境省及び広島県のレッドデータリストに掲載されている動植物も確認されている。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1 要旨

本地区は農業の個別経営から法人経営へと移行するため、生産基盤である耕地に関して区画形質の改善、用排水路、道路の整備、耕地の集団化等を総合的に実施し、農業機械の効率的な運行と合理的な水管理を行ないうる生産性の高い条件に整備することを目的とする。

また、農業従事者の高齢化による地域農業衰退の危機を解消するため、事業を契機に規模を拡大する農業生産組織への農地集積、広島県が掲げる高収益作物の取り組みにより、地域農業の再編と農業経営の安定を図る。

2 事業別面積

(第8表)

事業名 土地利用区分 事業目的	農地中間管理機構関連農地整備事業														小計 (ha)	計 (ha)	備考	
	水田 (ha)	輪換耕地 (ha)	普通畑 (ha)	山林 原野等 (ha)	その他													
区画整理			(7.0) 6.9		(1.1) 1.1				(8.1) 8.0								(8.1) 8.0	
計			(7.0) 6.9		(1.1) 1.1				(8.1) 8.0								(8.1) 8.0	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1 営農計画の概要

現在、農業に取り組む若い担い手の減少や営農者の高齢化が急速に進行しているため、本地区を含めた地域農業の大きな課題になっている。この課題を解消するために、集落法人の規模拡大・農地集積の進行・共同購入など集落法人間の連携を加速させ、区画整備などの基盤整備を併せることで、営農効率の向上・高収益作物への取り組み拡大・担い手の創出を推進する。

2 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用区分 区分	水田	普通畑	牧草畑	果樹園	茶園	その他	小計	原野	山林	その他	計	備考
		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)		
農地中間管理機構関連農地整備事業	現況	(7.2) 7.1	(0.2) 0.3					(7.4) 7.4			(0.7) 0.6	(8.1) 8.0	
	計画		(7.0) 6.9					(7.0) 6.9			(1.1) 1.1	(8.1) 8.0	
計	現況	(7.2) 7.1	(0.2) 0.3					(7.4) 7.4			(0.7) 0.6	(8.1) 8.0	
	計画		(7.0) 6.9					(7.0) 6.9			(1.1) 1.1	(8.1) 8.0	

3 作付方式

(第9表-2)

事業名	項目	経営類型	土地利用 区分	1年目												2年目												備考	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
				月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月		
農地 中間 管理 機械 構 関連 農地 整備	現況	水稻	田				○	△						×					○	△					×			○:播種	
			畑																										△:定植
	計画		田																										×
		青ネギ	畑			×					×				×					×						×			
					3年目												4年目												
	現況	水稻	田				○	△							×					○	△					×			
			畑																										
	計画		田																										
		青ネギ	畑			×					×				×					×						×			

4 生産計画

(第9表-3)

事業名	項目 土地 利用区分		作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当たり 収量(kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量 増減の内訳(t)		備考	
				現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積 増減	単位面積当たり 収量増加		
農地中間管理機構 関連農地整備事業	田	表作	水稲	(7.0) 6.9		(△7.0) △6.9	97		480	480	0	(33.6) 33.1			(△7.0) △6.9		-	
	畑	表作	青ネギ		(6.5) 6.4	(6.5) 6.4		100		1,791	1,791	0	(349.2) 343.9	(349.2) 343.9	(6.5) 6.4		3回/年 - 採り	
			自家消費・自己保全	0.2		△ 0.2	3											
	計			(7.2) 7.1	(6.5) 6.4	△ 0.7	100	100										

5 労働改善計画

(第9表-4)

事業名	項目 土地 利用区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量(hr/10a)				備考	
				区分	現況	計画	増減		
	農地中間管理機構関連農地整備事業			田			人力		
			機械力						
			人力						
			機械力						
			人力						
			機械力						
畑		青ネギ	(6.5)6.4	人力					
				機械力					
				人力					
				機械力					
				人力					
				機械力					
				人力					
				機械力					
				人力					
				機械力					
		計			人力				
					機械力				

6 級地別土地利用区分

該当なし

(第9表-5)

土地利用区分	区分 級地名	農用地造成(ha)					干拓(ha)					合計
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
農地	田											
	輪換耕地											
	畑											
	(普通畑)											
	(牧草畑)											
	樹園地											
	(果樹園)											
	(桑園)											
その他												
計												

7 土地配分計画

該当なし

(第9表-6)

項目 区分	配分戸数 (戸)	地目別配分計画(ha)							備考	
		田	転換耕地	畑			計			
				普通畑	牧草畑	樹園地				
増反		()	()	()	()	()	()	()	()	
入植		()	()	()	()	()	()	()	()	

第3節 用水計画

1 計画基準年

近傍観測所の資料(昭和51年～令和2年)における、かんがい期間中の有効雨量と連続干天日数の1/10年確率を求め、昭和42年を計画基準年とする。

2 計画かんがい方式

パイプラインにて取水かんがいを行う。かんがい期間は通年とする。

3 計画用水系統

別添資料②参照

4 計画用水量

(1)かんがい用水

(第10表-1-1)

項目 系統名	種別	面積(ha)			水田かんがい			水田畑利用			畑地かんがい			その他		消費水量 (m ³ /s)	損失率 (%)	粗用水量		備考	
		農地中間管理機構関連農地整備事業	計	普通期 計画 単位 平均 水量 (mm/日)	代かき期 単位 代用 か水 き量 (mm)	面積 (ha)	深平均 り日か 計画当 りたん た水	平均 間断 日 (日)	面積 (ha)	深平均 り日か 計画当 りたん た水	平均 間断 日 (日)	面積 (ha)	単位 計画 平均 水量 (mm/日)	面積 (ha)	平均 水量 (m ³ /s)			最大 水量 (m ³ /s)			
																			平均		最大
																			(mm/日)		(mm)
A	農業用水	(2.9) 3.5	(2.9) 3.5							(5) 3	(2.9) 3.5			(0.003) 0.005	5	(0.002) 0.007	(0.002) 0.007				
B	農業用水	(3.6) 2.8	(3.6) 2.8							(5) 3	(3.6) 2.8										
計		(6.5) 6.3	(6.5) 6.3		0.0		0.0			(6.5) 6.3						(0.002) 0.007	(0.002) 0.007				

(2) 営農飲雑用水

該当なし

(第10表-1-2)

区分	利用目的	対象面積(ha)			日当たり給水量		補給回数(回)	関係戸数(戸)	備考
		事業名			単位給水量 (% / 日)	最大給水量 (% / 日)			
				計					

5 水源計画

(1) 水利用計画

別添資料③参照

(第10表-2)

区分	項目	消費 水量 (千m3)	有効 雨量 (千m3)	純用 水量 (千m3)	粗用 水量 (千m3)	現況利用可能水量			不足水量		水源依存量		水源 工種	備考
						水源名	取水地点 利用可能量	ほ場利用 可能量	純不足 水量	全不足 水量	水源名	水量		
							e (千m3)	f (千m3)	g=c-f (千m3)	h=d-e (千m3)		(千m3)		
		a	b	c=a-b	d= c/(1-a)									損失率 :a
(事業名)														
	計													

(2) 用水対策

(ア) 貯水池

該当なし

(第10表-3)

貯水池名	項目	流域面積 (km2)		かんがい面積(ha)		純貯水量 (千m3)	利用貯水量 (千m3)	利用回数 (回)	最大取水量 (m3/s)	備考
		直接	間接	事業名						
				農地中間管理機構関連農地整備事業	計					
	計									

(イ)井堰及び自然取水口

(第10表-4)

項目 取水施設名	河川名	流域面積 (km ²)	かんがい面積(ha)		取水量(m ³ /s)		渇水量 (m ³ /s)	備考
			事業名		最大	平均		
			農地中間管理機構関連農地整備事業	計				
-	渓流水	-	(1.3)	(1.3)	(0.003)	(0.002)	-	地区外
-	渓流水	-	3.8	3.8	0.387	0.066	-	地区外
			3.1	3.1	0.064	0.012		
計			(1.3)	(1.3)	(0.003)	(0.002)		
			6.9	6.9	0.451	0.078		

(ウ)揚水機

(第10表-5)

項目 名称	水源名	かんがい面積(ha)		所要水量(m ³ /s)		揚水機				備考
		事業名		最大	平均	実揚程 (m)	揚水量 (m ³ /s)	台数 (台)	全揚水量 (m ³ /s)	
		農地中間管理機構関連農地整備事業	計							
揚水機	渓流水	3.9	3.9	(0.024)	(0.024)	(2.0)	(0.024)	1	(0.024)	ファームポンド (40m ³ ×2カ所) 2カ所(87.5m ³ ・72m ³)
揚水機		(3.1)	(3.1)	0.002	0.002	4.4	0.002	1	0.002	
揚水機		3.0	3.0	(0.019)	(0.019)	(2.5)	(0.019)	1	(0.019)	
配水機		(3.9)		0.002	0.002	3.9	0.002	1	0.002	
配水機		((3.1))		(0.282)	(0.282)	(23.0)	(0.282)	1	(0.282)	
		(3.0)		0.004	0.004	17.0	0.004	1	0.004	
				(0.228)	(0.228)	(23.0)	(0.228)	1	(0.228)	
				0.003	0.003	17.0	0.003	1	0.003	

(エ)用水路

(第10表-6)

項目 名称	かんがい面積(ha)		最大通水量 (m ³ /s)	延長 (km)	構造	備考
	事業名					
	農地中間管理機構関連農地整備事業	計				
パイプライン	(7.0)	(7.0)		(0.88)	(HIVP φ 40~75)	
	6.9	6.9	0.005	1.12	PE φ 75	
計	(7.0)	(7.0)		(0.88)		
	6.9	6.9	0.005	1.12		

(オ)その他の水源施設

該当なし

(3)水温水質

水温、水質とも作物生育上支障なし

第4節 排水計画

1 計画基準雨量

1/10年確率 (時間雨量) 47.2 mm/hr (4時間雨量) 106.4 mm/4hr

1/2年確率 (時間雨量) 30.6 mm/hr (4時間雨量) 59.6 mm/4hr

2 計画排水方式

角フリュームまたはDFフリュームにより遊水池または下流水路へ自然排水する。

3 計画排水系統

別添資料⑤参照

4 計画排水量

(第11表-1)

排水 系統名	受益面積(ha)		流域面積 (km ²)		基準 雨量 (mm)	降雨による 直接単位流出量 (m ³ /s/km ²)		基底流出量 (m ³ /s/km ²)		全排水量(m ³ /s)			単位排水量 (m ³ /s/km ²)		備考
	事業名		山地	平地		山地	平地	山地	平地	山地	平地		山地	平地	
	農地中間管理機構関連農地整備事業	計								自然排水	機械排水				
A	(8.1)	(8.1)	0.069	0.024	47.2	3.694	2.956			0.255	(0.310)		3.694	2.956	
	8.0	8.0									0.307				
計	(8.1)	(8.1)	0.069	0.024											

5 排水対策

(1)排水水門

該当なし

(第11表-2)

名称	流域面積 (km ²)	受益面積(ha)			計画排水量		排水本川			備考
		事業名			排水量 (m ³ /s)	地区内 湛水深(m)	名称	計画洪水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m)	
				計						
計										

(2) 排水機

該当なし

(第11表-3)

項目 名称	流域面積 (km ²)	受益面積 (ha)			計画排水量		排水機				備考
		事業名			排水量 (m ³ /s)	地区内 湛水深(m)	実揚程 (m)	排水量 (m ³ /s)	台数 (台)	全排水量 (m ³ /s)	
				計							
計											

(3) 排水路

(第11表-4)

項目 名称	流域面積 (km ²)	受益面積 (ha)		計画排水量 (m ³ /s)	延長 (km)	構造	排水本川			備考
		事業名					名称	計画洪水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m)	
		農地中間管理機構関連農地整備事業	計							
支線排水路	0.09	(8.1) 8.0	(8.1) 8.0	0.565	1.13	KF300、DF800*600、 DF1000*1000	遊水池⇒ 日之浦南川			
計			(8.1) 8.0		1.13					

(4) その他

該当なし

6 たん水検討

該当なし

第5節 道路計画

1 道路及び索道

(1) 道路

(第12表-1)

項目 路線名	幅(有効)×延長 (m) (km)	構造	既設道路との関係	備考
支線道路	4.0(3.0)×0.74	アスファルト舗装	県道・市道・農道に接続	
計	0.74			

(2) 索道

該当なし

(第12表-2)

項目 路線名	能力(t/hr)	延長(m)	接続道路名	備考

2 路線配置図

計画平面図参照

第6節 農用地造成計画

1 農用地造成計画

該当なし

(1) 農用地造成計画

該当なし

(第13表-1)

項目 土地利用区分	主要作物	自然傾斜	耕地の形状	標準区画の形状	備考

(2) 末端道水路配置図

該当なし

2 土壌改良

該当なし

(第13表-2)

項目 区分	面積 (ha)	土壌統(区)名	pH		置換酸度 (Y1)	りん酸吸収 係 数 (mg/100g)	ha当たり所要量			備考
			H ₂ O	KCl			石灰 (t)	りん酸質 資 材(t)	有機質 資材(t)	

第7節 洪水調節計画

1 計画基準雨量 該当なし

2 計画洪水量及び調節量 該当なし

(第14表-1)

地点	流域面積(km ²)	洪水到達時間(hr)	計画洪水量(m ³ /s)	安全洪水量(m ³ /s)	必要調節量(m ³ /s)	ピーク時調節量(m ³ /s)	ピーク時調節後流量(m ³ /s)	調節前後最大流量(m ³ /s)	調節前後最大流量の差(m ³ /s)	最大調節量(m ³ /s)

3 貯水池 該当なし

(第14表-2)

項目 貯水池名	流域面積(km ²)		計画洪水量(m ³ /s)	貯水量(千m ³)			計画調節流量(m ³ /s)	可能調節流量(m ³ /s)	備考
	直接	間接		有効	洪水調節容量	他目的			

4 洪水調節検討 該当なし

- (1) 河川改修計画との関係
- (2) 洪水調節が下流に及ぼす影響
- (3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討

5 管理計画 該当なし

- (1) 管理機構
- (2) ダム管理操作上の各種基準
- (3) 洪水調節要領

第8節 干拓計画 該当なし

(第15表)

項目 名称	延長(m)	計画高潮(水)位(T.P.m)	風向及び対岸距離(km)	風速(m/s)	気圧(mb)	備考

第9節 農用地整備計画

1 区画整備

(1) 区画の形状

(第16表-1)

長辺×短辺 (m)	区画面積 (ha)	全体的面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備考
190×75	1.40	(7.0) 6.9	100.0	1m以内	
端田区					
計		(7.0) 6.9			

(2) 表土扱い

(第16表-2)

面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m3)	備考
1.3	肥沃度の保持が困難	15	1,950	

(3) 末端道水路配置図

計画平面図参照

2 暗渠排水

(1) 暗渠排水

該当なし

(第16表-3-1)

項目 区分	面積(ha)		事業名	土壌統(区)名	基準雨量 (mm/日)	単位排水量 (ℓ/s/ha)	計画後の 地下水位(m)	集水渠出口 以下の 排水方式	備考
	農地中間管理機構関連農地整備事業	計							
計		0.0							

(2) 心土破碎

該当なし

(第16表-3-2)

項目 区分	面積(ha)		事業名	土壌統(区)名	土壌硬度	備考
		計				
計						

3 客土

(第16表-4)

区分	項目	面積(ha)		土壌統(区)名	減水深(mm/日)		作土の厚さ(cm)		10a当たり 客土量 (m3)	土壌の性質		備考
		事業名			現況	計画	現況	計画		受益地 (%)	採土地 (客土材料)(%)	
		農地中間管理機構関連農地整備事業	計		平均	平均	平均	平均				
客土		(7.0) 6.9	(7.0) 6.9	中粗強グライ土壌			15	40	350			

4 農地保全

(1) 防災林

該当なし

(第16表-5-1)

区分	項目	最大風速 (m/s)	幅 (m)	間隔 (m)	備考

(2) 排水工

該当なし

(第16表-5-2)

区分	項目	基準雨量 (mm/日)	土性	流出率	排水量		備考
					単位排出量 (m3/s/ha)	全排水量 (m3/s)	

(3) 侵食(崩壊)防止工

該当なし

(第16表-5-3)

区分	項目	位置	支配面積 (ha)	機能	備考

第10節 老朽ため池改修計画

- | | |
|------------|------|
| 1 洪水吐改修計画 | 該当なし |
| (1) 計画基準雨量 | |
| (2) 計画洪水量 | |
| 2 堤体補強計画 | 該当なし |
| 3 取水施設改修計画 | 該当なし |

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1 貯水池

該当なし

(第17表-1)

名称	形式	流域面積(km ²)		位置 堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (m ³)	基盤地番 地質	貯水量(千m ³)		備考
		直接	間接					総貯水量	有効貯水量	
洪水吐	型式	洪水量 (m ³ /s)		取水施設	型式	取水量 (m ³ /s)	放流施設	型式	放流量 (m ³ /s)	

2 頭首工

該当なし

(第17表-2)

名称 型式	堤高 (m)	堤長(m)			取水位 (m)	取水量 (m ³ /s)	付帯施設	備考
		固定部	可動部	計				

3 揚水機

(第17表-3)

項目 名称	位置	揚水量 (m ³ /s)	揚程(m)		揚水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力 (kW)	台数 (台)	
揚水機		(0.019~0.024) 0.002, 0.002	(2.0~2.5) 4.7, 4.3	(2.0~2.5) 4.4, 3.9	水中ポンプ	(φ25) φ50	2	電動機	(0.45) 0.40, 0.25	(1) 2	ファームホント'
配水機		(0.228~0.282) 0.004, 0.003	(23.0) 24.0, 22.0	(23.0) 170, 17.0	陸上ポンプ	φ40	2	電動機	(1.5~2.2) 1.5	(1) 2	(40m ³ ×2カ所) 2カ所(87.5m ³ ・72 m ³)

4 用水路

(第17表-4)

項目 水路名	かんがい面積(ha)		通水量 (m ³ /s)	延長(km)			構造	勾配	主要構造物	備考
	事業名	農地中間管理機構関連農地整備事業		開きよ	トンネル その他	計				
	(7.0)		(0.005)		(0.88)	(0.88)	(HIVP φ40~75)		(HIVP)	
パイプライン	6.9		0.004		1.12	1.12	PE φ75	LEVEL	PE	
計	(7.0) 6.9				(0.88) 1.12					

第2節 排水施設

1 排水水門 該当なし

(第18表-1)

名称	項目	位置	形式	構造	内水位 (m)	外水位 (m)	排水路 (m ³ /s)	備考
計								

2 排水機 該当なし

(第18表-2)

名称	項目	位置	排水量 (m ³ /s)	揚程(m)		排水機			原動機			備考
				全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力 ()	台数 (台)	
計												

3 排水路

(第18表-3)

水路名	項目	受益面積(ha)	排水量 (m ³ /s)	延長(km)			構造	勾配	主要構造物	備考
		事業名		開きよ	トンネル その他	計				
		(8.1)								
支線排水路		8.0	0.565	1.13		1.13	KF300、 DF800*600、 DF1000*1000	1/500～ 1/10000	角フリューム DF水路	
計		(8.1) 8.0	0.565	1.13	0	1.13				

4 その他 該当なし

第3節 道路及び索道

1 道路

(1) 道路の総括表

(第19表-1)

項目 区分	路線名	幅(有効)(m) ×延長(km)	構造	付帯構造物			最急 こう配 (%)	同左の 延長 (m)	最小曲線 半径 (m)	備考
				名称	構造	数量 (箇所)				
支線道路	2路線	4.0×0.74	As舗装							
計		0.74								

(2) 道路主要構造物

該当なし

(第19表-2)

項目 路線名	名称	規模構造	延長 (m)	箇所数 (箇所)	備考

2 索道

該当なし

(第19表-3)

項目 名称	延長 (m)	高低差 (m)	能力 (t/hr)	原 動 機		備考
				型 式	能 力 ()	

第4節 農用地造成

1 農用地造成

(1) 抜根

該当なし

(第20表-1)

項目 区分	樹種	樹径 (cm)	haあたり本数 (本/ha)	面積 (ha)	工法	備考

(2) 除礫

該当なし

(第20表-2)

区分	項目	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m ³ /ha)	面積 (ha)	工法	備考

(3) 開墾作業

該当なし

(第20表-3)

区分	項目		面積 (ha)	工法	備考
地目	造成工法				
	計				

(4) 地目変換

該当なし

(第20表-4)

区分	項目	面積(ha)	工法	備考
	計			

(5) 末端用水路等

該当なし

(第20表-5)

区分	項目	数量	規模	構造	備考
	計				

(6) 末端排水路等

該当なし

(第20表-6)

区分	項目	数量	規模	構造	備考
	計				

2 土壤改良

該当なし

(第20表-7)

区分	項目	面積 (ha)	石灰量 (t)	りん酸質資材量 (t)	有機質資材量 (t)	備考
	計					

第5節 洪水調節施設

1 貯水池

該当なし

2 頭首工及び導水施設

(1) 頭首工

該当なし

(第21表-2)

名称			位置			計画洪水位 (m)	付帯施設	備考
			堤長(m)					
型式	集水面積 (km ²)	提高 (m)	固定部	可動部	計			

(2) 導水路

該当なし

(第21表-3)

水路名	項目	通水量 (m ³ /s)	延長(m)			構造	勾配	備考
			トンネル	その他	計			

第6節 干拓施設

1 堤防

該当なし

(第22表-1)

名称	項目	型式	延長 (m)	構造				原地盤標高(m)		備考
				堤頂標高 (m)	盛土幅 (m)	盛土標高 及び舗装	上流斜面	下流斜面	平均	

2 潮止め

該当なし

(第22表-2)

名称	項目	工法	幅員 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)	最大流速 (m/s)	床固め構造	備考

3 付属施設

該当なし

4 埋立

該当なし

(第22表-3)

区分	項目	面積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立土量 (m3)	施工方法	備考

第7節 農用地整備施設

1 区画整理

(1) 区画整理

(第23表-1)

工区名	面積 (ha)	整地工		表土扱い		備考
		標準区画	土量(m3)	面積(ha)	土量(m3)	
日之浦	(7.0) 6.9	140a	(1,820) 1,800	1.3	1,950	

(2) 末端用水路等

該当なし

(第23表-2)

区分	項目	数量	規模	構造	備考

(3) 末端排水路等

該当なし

(第23表-3)

区分	項目	数量	規模	構造	備考

2 暗渠排水

(1)暗渠排水 該当なし

(第23表-4-1)

区分	項目		集水渠				吸水渠						集水渠出口以下の排水施設			備考
	面積 (ha)		勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (m)	延長 (m/ha)	名称	構造	数量 (m/ha)	
	事業名	計														
	農地中間管理機構 関連農地整備事業															
計																

(2)心土破碎 該当なし

(第23表-4-2)

区分	項目	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m3/ha)	面積 (ha)	工法	備考
計						

3 客土

(第23表-5)

区分	項目		客入土量 (m3)	土取場土量 (m3)	運搬距離 (km)	運搬方法	備考
	面積 (ha)						
	事業名	計					
	農地中間管理機構 関連農地整備事業						
客土	(7.0)	(7.0)	(24,500)				
計	6.9	6.9	24,150				

4 除礫 該当なし

(第23表-6)

区分	項目	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m3/ha)	面積 (ha)	工法	備考
計						

5 農地保全

(1) 防災林 該当なし

(第23表-7)

区分 \ 項目	幅 (m)	延長 (m)	面積 (ha)	樹種	植栽本数 (本)	備考

(2) 排水路 該当なし

(第23表-8)

区分 \ 項目	延長 (m)	流量 (m ³ /s)	構造	備考

(3) 侵食防止工 該当なし

(第23表-9)

名称 \ 項目	構造	数量	備考

第8節 老朽ため池改修施設

1 貯水池 該当なし

(第24表)

名称	位置				備考			
	型式	流域 (km ²)	堤高 (m)	堤長 (m)		堤体積 (m ³ /s)	堤頂幅 (m)	貯水量 (千m ³)
洪水吐	型式	洪水量 (m ³ /s)	規模 (m)	備考	取水施設	型式	取水量 (m ³ /s)	備考

2 堤体補強施設

(1) のり面保護施設 該当なし

(2) 漏水防止工 該当なし

第6章 附帯工事計画

該当なし

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

地区名	着手予定年度	完了予定年度	備考
日之浦	令和5年度	令和9年度	

第8章 環境との調和への配慮

環境調査で確認された希少動植物への配慮について、保護すべき動物としてカヤネズミ、ニホンイシガメ、トノサマガエル、メダカ、ドジョウ、ホウネンエビなど13種、保護すべき植物として地域特徴種を含めたカワツルモ、カワヂシャ、アカウキクサ、ヒメミズワラビ、イチヨウウキゴケなど7種が該当するが、これらについては施工前移動・移植など適切な対応を行う。
また、工事着手後に保護すべき生物が確認された場合は、対応・工法について検討を行い適切に対処する。
工事中は、河川汚濁防止施設を設置し、工事区域からの濁水放流に配慮する。

第9章 換地計画の概要

第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

原則として、各人の従前地の土地が最も密集した位置を中心に集団化を図り、本地区の換地設計基準、土地評価基準に基づいて換地配分する。

第2節 換地区の設定

1 換地区の名称、所在、面積

(第25表-1)

換地区名	換地区の所在	面積 (ha)
日之浦	呉市安浦町	(8.1) 8.0

2 換地区を設定する理由

該当なし。

第3節 換地計画樹立の基本方針

1 従前の土地の地積の基準

(第25表-2)

換地区名	地積の基準
日之浦	換地交付の基準とする従前の土地の地積は、国土調査法による地籍調査に基づく登記が完了している土地にあつては、土地改良事業計画決定の日の登記簿地積とし、これ以外の土地にあつては、広島県の行う実測による地積とする。

3 農用地集団化の方針

(第25表-4)

換地区名	区分	地帯別、グループ別 団地の設定	個人別換地の方法		
			位置の選択方法	1戸当たり目標団地数	区画畦畔の取扱い
日之浦		該当なし	母地集団化方式	おおむね2団地	(固定畦畔) ア.換地は、原則として標準区画を単位に交付するが、換地すべき面積が標準区画に交付して余る場合又は標準区画に不足する場合は標準区画を分割して交付する。 (移動畦畔) ア. 畦畔は、配分面積に応じて移動して定める。

4 非農用地の換地方法

(第25表-5)

換地区名	区分	用途	非農用地区域の位置の概略	面積 (m ²)	換地の手法	換地取得予定者	その他
日之浦			該当なし				

第4節 土地の評価及び清算の方法

1 評価の方法

項目別配点評価方式 本地区で決定した評価基準に基づき評価委員が評価する。

2 清算の方法

比例地積清算方式 事業による増価額を従前の土地の交付対象面積に比例して配分する。

第5節 換地計画樹立の年度計画

(第25表-6)

換地区名	区分	一時利用地の指定 予定年度	換地計画の決定 予定年度	換地処分 予定年度	備考
日之浦		令和5～令和7年度	令和9年度	令和9年度	地区面積(8.1ha) 8.0ha

第6節 換地処分の時期に関する特則

該当なし。

第10章 事業費の総額及び内訳

(第26表)

区分	事業名	農地中間管理機構関連農地整備事業 (百万円)	備考
区画整理		178	R4年度単価
暗渠排水		0	
客土工(土壌改良)		93	
小計		271	
測量試験費		32	
用地買収補償費		1	
換地・確定測量費		13	
事務費(工事雑費含む)		15.9	
合計		332.9	
関連事業(参考)			

第11章 効用

(第27表)

事業名	項目	年総効果額 (千円)	年増加農業所得額 (千円)	備考
農地中間管理機構関連農地整備事業	区分			
	作物生産効果	12,882	11,105	
	営農経費節減効果	-	-	
	維持管理費節減効果	△136	△136	
	国産農産物安定供給効果	17,101	-	
	計	29,847	10,969	

第12章 関係する事業

該当なし

(第28表)

区分	事業名	事業主体	受益面積 (ha)	事業内容

第13章 現況・計画図面

- 1 現形図
- 2 計画平面図及び土地利用計画図
- 3 主要構造図